

## 島本町立第一中学校 第4回 学校協議会要点録

1. 日 時 平成31年1月17日（木） 午後6時00分～7時30分
2. 場 所 島本町立第一中学校 校長室 （2階）
3. 出席者 鈴木会長、宮本委員、佐々木委員、清水委員、山根川委員  
西村委員、後藤委員、瀧林委員  
松本（学校）
4. 次 第

(1) 開 会 校長あいさつ 鈴木会長あいさつ

(2) 案 件

- ① 平成30年度学校教育自己診断の結果概要について
- ② 年間教育活動の反省と平成31年度に向けた課題整理について

校長より併せて概要を説明

〈校長〉学校教育自己診断の結果については、どの項目においても概ね肯定的な評価が多かった。学校として今年度重点に置いた取組の成果として見ている。

来年度に向けた課題として①子どもたちに求められる学力として、知識・技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自ら学び、主体的に判断し、問題を解決していけるような力を付けていくため、これまで大阪府の研究指定を受けていた学力向上に向けた様々な取組の成果を土台として、より効果的に進めていきたい。また、町全体で推進している英語教育についても、小学校と連携しながら発進力を高めていきたい。②支援学級在籍生徒が増加している現状、障がい者理解を進めるとともに「ともに学び、ともに育つ」教育活動を学校全体でより強固なものにしていきたい。③新しい教科道德の実施に向け、こころの教育や人権意識の向上に取り組んでいきたい。④地域で子どもを育てるという意義を保護者や地域の方々と共有し、これまで以上の連携を模索していきたい。

〈委員〉学校教育自己診断の保護者からの自由記述の中には様々な意見があった。一部には教師批判と思われるような内容もあったが、学校としてどのようにとらえているか。

〈校長〉保護者の一面的な受け止め方もあろうかと思っているが、様々な保護者の声として受け止め、教職員全体で周知している。また、今後の学校運営に関する参考とさせてもらっている。

(委員) 大阪府として小中学校に携帯・スマホの持込が **OK** となるようだが、学校としてどのように考えるか。

(校長) まだ、府からガイドラインの詳細については示されていないのが現状であるが、方向としては、保護者からの申請があれば許可していくことになる。  
ただ、そのことによってこれまでになかった新たな課題が起これる可能性があるため学校現場としては懸念している。

(委員) 子どもたちの現状を見ている限り、小学生でもスマホの所持率が多くなっている。安全のための所持を認めていくという流れはいたしかたないと思う。ただし、スマホの扱い方については、家庭と学校とが協力し合っってしっかりと教え込む必要がある。

(委員) SNS などの過去の履歴が、就職採用などの場面で影響してきているのが常識になってきている。

(校長) 子どもに対する啓発や保護者・教員への研修は今後も必要であると考えている。大阪府や島本町としてのガイドラインをもとに慎重に対応していきたい。

### ③ その他

2月2日(土) 14時からふれあいセンターで連Pとゆめ本部共催による教育講演会のお知らせ

次年度にむけた学校協議会からの提言の作成に向け、各委員より意見の集約をお願いしたい。2月25日をめどに学校に FAX およびメール等でお伝えいただく。

## (3) 閉 会

次回の日程            3月 7日(木)            午後6時00分 ~

場所：第一中学校 2階 ( 校長室 )